

平成 25 年度東口地域地震防災訓練概要

本年度は、検証会でいただいた意見等を取り入れ、より実践的な訓練を実施するため、次のような日程で、実施します。

訓練説明会&図上演習訓練：平成 25 年 10 月 31 日(木) 13 時 15 分～16 時

実動訓練：平成 25 年 11 月 7 日(木) 13 時～15 時 30 分

【訓練説明会&図上演習訓練について】

1. 目的

東日本大震災を踏まえ、一時滞在施設の設置や東京都帰宅困難者対策条例等が施行されるなど、帰宅困難者対策についてここ最近で大きく変化してくる中で、東口エリアがいったいどのような状況に見舞われ、帰宅困難者等をどのように避難誘導したらよいか、協議会メンバーとして認識を共有するとともに課題を含めて検証してみる。

2. 日時

平成 25 年 10 月 31 日(木) 13 時 15 分～16 時

※図上演習訓練後、平成 25 年 11 月 7 日(木)の実動訓練も含めた訓練全体についての説明会に移行します。

3. 場所

新宿区役所第一分庁舎 7 階研修室（新宿区歌舞伎町 1 丁目 5 番 1 号）

4. 訓練想定

想定事象

日時：パターン 1:平日の夜間⇒19 時発災

パターン 2:日曜日の午後⇒15 時発災

震度：都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模：M7.3 震源地:東京湾北部（平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」）

5. 訓練内容

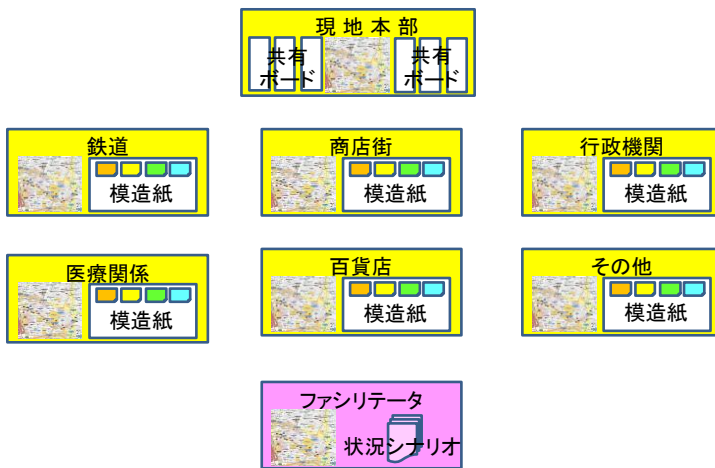
避難誘導図上演習訓練

ファシリテーターより、訓練想定に基づき、いくつかのパターン(平日夜間、休日等)の被害状況を付与する。東口エリアで多くの被害及び負傷者が発生する中、帰宅困難者をどのように避難誘導したらよいか、一時滞在施設のキャパを踏まえて、どのような状況になるのか等を、より現実に近い形での図上演習訓練によりイメージする。これにより刻々と変化する状況を確認するとともに、対応策や課題を整理する。

6. その他

図上演習訓練終了後、新宿区役所第一分庁舎 1 階のボード等が保管してある倉庫等を確認後、終了とする。

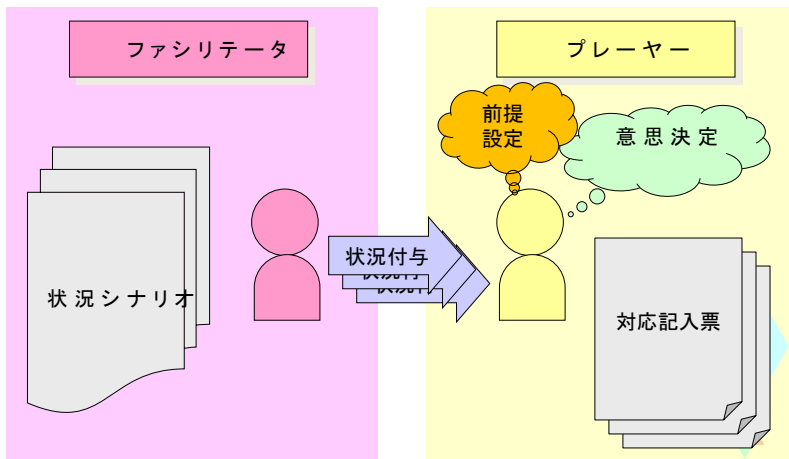
■レイアウト



■演習手法

テーブルトップエクササイズ

テーブルトップエクササイズは、シミュレーションを取り入れるが、比較的低ストレスな環境の中で実施する。基本的にはワークショップ形式やブレインストーミングなどで問題を洗い出すのが目的である。



対応項目確認図上演習訓練

進行役のファシリテーターより、いくつかのパターン(平日夜間、休日等)の被害状況を時系列に付与し、帰宅困難者、滞留者の人数等をその場で追加の想定をしながら、対応する項目及び具体的な対応策を付箋に洗い出し、全体の流れを理解するとともに、対応する上での課題、問題を付箋に洗い出し、情報共有・発信、負傷者対応、帰宅困難者の避難誘導等の改善に反映する。

■発災時間のパターン

- 1.平日の夜間⇒19時発災
- 2.日曜日の午後⇒15時発災

■対応する項目

- ・東口現地本部(新宿区災害対策本部との情報共有)
- ・負傷者対応
- ・避難誘導
- ・滞留者への情報提供

■状況付与

- ・ 負傷者の程度と人数
- ・ 火災の有無と個所及び程度
- ・ 建物被害の有無と個所及び程度
- ・ 広域避難場所、一時滞留施設の状況
- ・ . . .

付箋

■想定

- ・ 発生時間のパターンによる帰宅困難者、滞留者の人数
- ・ 対応できる人数
- ・ 知り得れる情報
- ・ . . .

付箋

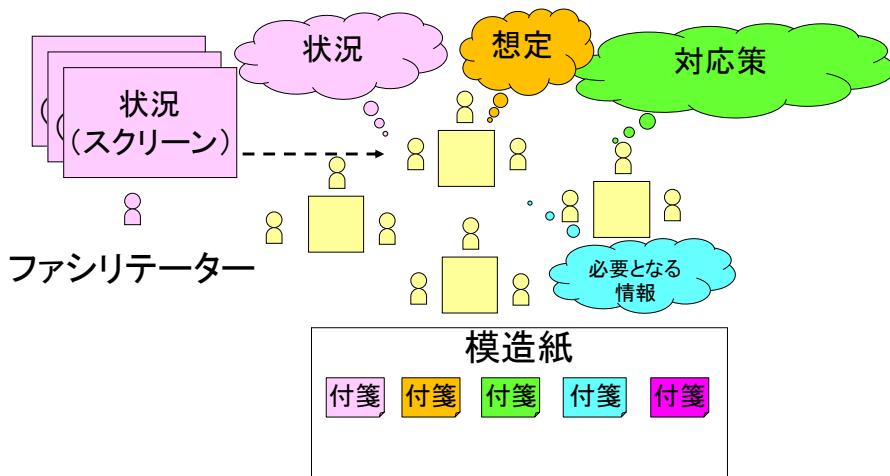
■検討する内容

- ・ 具体的な対応策
- ・ 必要となる情報
- ・ 課題

付箋

付箋

付箋



■スケジュール

- 13:15~13:40 オリエンテーション
- 13:40~14:10 パターン 1.平日の夜間
- 14:10~14:40 パターン 2.日曜日の午後
- 14:40~15:00 反省会
- 15:10~15:50 訓練説明会、質疑応答
- 15:50~16:00 新宿区役所第一分庁舎 1階のボード等が保管してある倉庫等の確認

【実動訓練について】

1. 目的

昨年、実施した訓練をベースにより発展して現地本部の機能を強化するとともに、アクションカードを用いて、負傷者発生時にその場で出来ることや、医師会・大久保病院等が実施する災害医療へ協力できることを体験する等、新たな取り組みに挑戦し、地域防災力の向上を目指す。

2. 日時

平成 25 年 11 月 7 日(木) 13 時～15 時 30 分

3. 場所

ハイジア 1 階（新宿区歌舞伎町 2 丁目 44 番 1 号）に次のスペースを用意する。

(1)東口現地本部：新宿区役所第一分庁舎 1 階であると仮想したスペース

(2)応急救護所(トリアージポスト)、応急手当所(軽傷者のみ)

(3)医療機関(重傷者のみ)：大久保病院（新宿区歌舞伎町 2 丁目 44 番 1 号）であると仮想したスペース

※訓練終了後の反省会も、ハイジア 1 階で行う。

4. 訓練想定

想定事象

日時：平成 25 年 11 月 7 日（木）13 時発災

震度：都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模：M7.3 震源地:東京湾北部（平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」）

5. 訓練内容

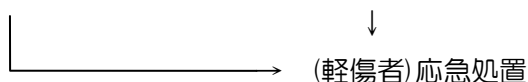
(1) 東口現地本部情報共有訓練

東口現地本部立ち上げ → 情報共有(西口現地本部、新宿区災害対策本部) → 情報伝達

(2) 負傷者対応訓練

アクションカードを用いて災害医療への協力(負傷者発生現場、医師会、大久保病院)

模擬負傷者発生 → 傷病者の選別 → 搬送 → トリアージ → (重傷者)医療処置



(1) 東口現地本部情報共有 13時～13時30分

情報共有は誰とどんな情報を

東口現地本部

- ・ハイジア 1階の新宿区役所第一分庁舎 1階と仮想したスペース
- ↓ 駆けつけたもので現地本部立ち上げたという前提
- ↓ ★現地本部にて情報共有
- ↓ ※現地本部運営マニュアルに基づき、本部運営スタッフがなくても
- ↓ ★新宿ルールに基づき、防災無線等を活用して西口及び新宿区災害対策本部との情報共有を行う
- ※協議会メンバーでは集められない情報収集(西口情報、鉄道、医療機関等)

誰が
★協議会メンバー
◆医師会
●大久保病院
▲特定メンバー

(2) 負傷者対応訓練 13時40分～15時30分

重傷者が発生した場合どこへ

※重傷者のみを大久保病院に搬送するルールのため、傷病者の選別をして各事業所の現場レベルで傷病者の搬送優先順位付けをする必要がある。

ハイジア 1階の外を各事業所の現場と想定

- ↓ 模擬負傷者発生
- ↓ ★アクションカードを用いて傷病者の選別・応急救護等への協力
- ↓ ★担架・ブルーシートで「赤」重傷者のみを応急救護所(ハイジア 1階ホール)まで搬送
- ↓ ※事前のブルーシートのレクチャーに基づき

応急救護所

- ・ハイジア
- ↓ ◆ハイジアで、トリアージポスト、応急救護所設置
- ↓ ◆到着後医師会によるトリアージ 「赤」は大久保病院へ
- ↓ ★アクションカードを用いて災害医療(医師会)への協力

医療機関

- ・大久保病院
- ↓ ●大久保病院で「赤」重傷者に対する医療処置
- ※ハイジア 1階に大久保病院と仮想したスペースを用意
- ↓ ★アクションカードを用いて災害医療(大久保病院)への協力

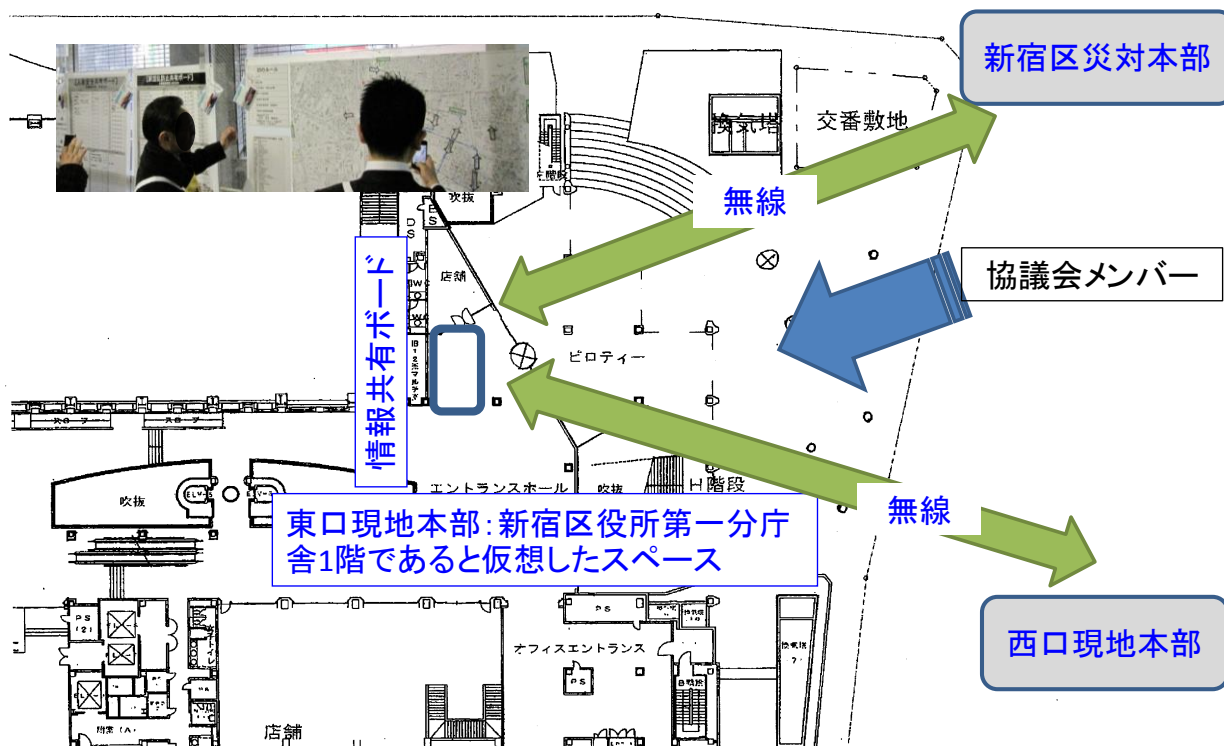
軽傷者が発生した場合はどう対処したら

※軽傷者は、事業所の現場レベルで応急処置を実施する。「応急手当所」の設置の検討

応急手当所 ← 「緑」軽傷者のみ ← トリアージ

- ・ハイジア
- ↓ 模擬軽傷負傷者発生
- ↓ ★アクションカードを用いて災害医療への協力(軽傷者に応じた応急処置)

(1)東口現地本部立ち上げ及び運営



(2) 負傷者対応訓練

